

第26回横須賀市社会福祉審議会
福祉専門分科会
(2025.7.29)

資料 2

横須賀市地域福祉計画関連事業の
実施状況について

1 地域における支え合いの基盤づくりの促進

(1) 地域における支え合いの基盤づくりの促進

施策の方向性

- ・ 地域における重層的な人と人とのつながりの中で、日常的な困りごと（地域の生活課題）に気付いた人が寄り添いながら、地域の関係機関につなげられるよう、地域における支え合いの基盤づくりを促進します。
- ・ 地域住民が持つ「地域のためにできることをやりたい・やってみたい」という思いを応援し、大小問わずさまざまな活動や選択肢の創出をサポートしていきます。
- ・ 高齢者や障害者だけでなく、社会で生活している人たち誰もが福祉の対象です。福祉を覆っている固定概念、「意識のバリア」を打ち破り、誰もが福祉の一員であるという意識を醸成していきます。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み（計画の記載）

1 (1)

- ・ さまざまな地域資源と連携した事業の展開に向け、協議の場づくりを進めます。
- ・ 各地域における見守り体制の整備と支援を必要とする全ての地域住民が相互に助け合い活動ができる仕組みづくりを行います。
- ・ 地域に足を運び、地域資源の情報収集を行い、地域のことを一緒に考え、思いをつなげる生活支援コーディネーターを市及び地域包括支援センターに配置します。
- ・ 地域で暮らすさまざまな立場や組織の関係者が交わる場を支援し、顔の見える関係や連携体制づくりを進めます。
- ・ 地域におけるさまざまな相談に対して、解決に向けた支援ができるように行政センターの機能強化を図ります。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績) 1 (1)

取り組み名	地域活動団体の支援	担当	市社会福祉協議会地域福祉課
内容	(1) 民生委員児童委員活動の支援 市社会福祉協議会が民生委員児童委員協議会事務局を務め、関係団体や機関と協力しながら、民生委員児童委員活動や各地区民生委員児童委員協議会の支援を行いました。		
	(2) 社会福祉推進委員活動の支援 社会福祉推進委員への活動費助成、社会福祉推進委員連絡会の設置促進、研修会の開催等を実施し、社会福祉推進委員活動を支援しました。		
	(3) 地区社会福祉協議会・地区ボランティアセンターへの支援 地区社会福祉協議会部会の開催や、地区社会福祉協議会育成費の助成を実施し、地区社会福祉協議会活動を支援しました。 また、地区ボランティアセンターの活動育成や研修会の開催を実施し、地区ボランティアセンター活動を支援しました。 令和6年度は、地区の課題やニーズを把握するため、全ての地区社会福祉協議会において、地区懇談会を開催しました。		
	実績	開催地域	19 地域
	出席者数	359 人	
取り組み名	地域支え合い団体の設立支援	担当	民生局福祉こども部福祉総務課
内容	(1) 立ち上げ、運営への相談・支援 福祉総務課と生活支援コーディネーターを配置している各地域包括支援センターを相談窓口として、支え合い団体の設立や継続的な運営への相談支援を実施しました。 活動を開始する際のポイントや各種様式例を記載した「支え合い活動ガイドブック」を活用しながら、必要に応じて、先行団体を紹介することで相互のネットワークづくりを支援しました。		
	実績	第2層生活支援コーディネーターの配置	12 人 (令和 7年 3月 末時点)
	(2) 支え合い団体への補助 住民が主体となって、自主活動として生活支援や居場所づくりの活動を行う団体の立ち上げや、自立した運営を支援することを目的として補助を実施しました。		
	実績	生活支援を行う団体	24 団体 (令和 7年 3月 末時点)
実績	居場所づくりを行う団体	1 団体 (令和 7年 3月 末時点)	

取り組み名	地域支え合い団体の活動支援	担当	民生局福祉こども部福祉総務課	
内容	(1) 支え合い団体学習会 支え合い団体の活動者を対象に「支え合い団体学習会」を実施しました。			
	実績 参加人数	50 人		
	(2) 支え合い団体情報交換会 支え合い団体の活動者を対象に「支え合い団体情報交換会」を実施しました。			
実績 参加人数 (令和6年度は実施なし)	0 人			
(3) 支え合い団体の活動紹介				
実績 FMブルー湘南ラジオ出演団体	6 団体			
取り組み名	地域生活相談員の配置	担当	民生局地域支援部市民相談室	
内容	家庭内の問題や地域の困り事など、日常生活で困ったり悩んだりしていることを聞いて、連絡先や相談先をアドバイスする「地域生活相談窓口」を、各行政センターに設置し、相談を受け付けました。			
	実績 相談件数 (合計)	4,224 件 (令和 7年 3月 末時点)		

(2) 地域における健康増進の取り組みの支援

施策の
方向性

市民が自分自身の健康に関心を持ち、積極的に健康づくりに取り組むよう支援していきます。また、さまざまな人々と交流する機会や社会活動に参加する（社会参加）ことは、健康状態の維持向上に大切だということが分かっています。そのため、健康を維持するための食習慣や運動習慣といった生活習慣の改善に加えて、地域や社会とつながることの大切さを伝え、地域全体が健康になるよう取り組んでいきます。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み（計画の記載）

1 (2)

- ・ 同じ悩みや不安をもつ人の解決に向けて活動する組織づくりの支援を行います。
- ・ 健康に関するボランティアの育成と活動支援を行います。
- ・ ラジオ体操活動団体の登録や活動の支援を行います。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績) 1 (2)

取り組み名	地域における健康づくりの推進	担当	民生局健康部健康管理支援課・健康増進課
内容	<p>市民の健康を保持増進するために、第2期データヘルス計画（平成30年3月策定、令和2年度中間評価実施）に基づき、各保健事業を実施しました。</p> <p>本市国民健康保険被保険者で40歳から74歳の方へ特定健診の受診券を送付するとともに、その受診勧奨を実施しました。</p> <p>また、特定健診の結果から生活習慣病のリスクが高い者へ特定保健指導の提供と利用勧奨を実施、医療機関への受診が必要な者については、受療勧奨を実施しました。</p>		
	実績	特定健康診査受診券送付件数	58,729 件 (令和 7年 3月 末時点)
	<p>健康推進プランよこすかに基づき、生活習慣病の発症予防や健康づくりを目的とした各種事業を実施しました。</p>		
	実績	ラジオ体操活動グループ登録	83 団体 (令和 7年 3月 末時点)
	実績	健康づくり講演会	1 回
	実績	働きざかり講演会	1 回
	実績	ヘルスメイトよこすか養成講座	1 回
	実績	生活習慣病予防教室（栄養）	6 回
	実績	生活習慣病予防教室（運動）	6 回
実績	市HPや市SNSを活用して健康に関する情報の発信		
実績	民生委員児童委員協議会に、地域における熱中症予防対策普及啓発の協力依頼		
取り組み名	介護予防活動の取り組みの推進	担当	民生局健康部健康増進課
内容	<p>介護予防サポーターを養成し、介護予防に負する地域活動組織の育成や身近な場所での継続的な介護予防活動の支援をしたり、高齢者の自立促進を図ったりしました。</p>		
	実績	介護予防サポーター養成講座（地域型を含む）	
		・ 開催コース数	2 コース (令和 7年 3月 末時点)
	・ 新規養成者数	43 人 (令和 7年 3月 末時点)	

(3) 地域における交流の促進

施策の
方向性

- ・ 核家族化が進み、地域における近所付き合いや助け合いが希薄化する中、多世代交流は豊かな人間関係を築く機会となります。
- ・ 地域の人々が気軽に立ち寄り、交流の輪を広げ、そこで出会った仲間と楽しみながら暮らすことができる交流の場づくりや外出しやすい環境づくりに取り組みます。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

1 (3)

- ・ 地域福祉の活動拠点である地区ボランティアセンターの機能を強化し、さまざまな人が気軽に立ち寄り、居場所にできるような場として住民が主体的に活用できるよう支援します。
- ・ 地域における多様な住民の交流の場づくりや活動を支援するとともに情報発信を行います。
- ・ 地域の活動や集まりの場に出向き、顔の見える関係づくりを進めます。
- ・ 地域における困りごとや好事例を共有する場をつくります。
- ・ 地域活動の参加のきっかけとなるような講演会、研修会、講座等を開催します。
- ・ 外出しやすくなる環境づくりに努めます。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績) 1 (3)

<p>取り組み名</p>	<p>居場所づくりの推進</p>	<p>担当</p>	<p>市社会福祉協議会地域福祉課</p>	
<p>内容</p>	<p>地区ボランティアセンターや各地区のサロン活動を援助・支援し、居場所づくりを支援しました。</p>			
	<p>(1) 地区ボランティアセンター活動育成事業 地区ボラセンにかかる経費（運営費、家賃等借上料、移転に伴う拠点整備費）に対する助成を行いました。</p> <p>(2) 「ふれあい・いきいきサロン」活動への支援 高齢者や子育て中の親子の孤独感・孤立感解消のための交流や仲間づくりの場として、身近な地域での交流や仲間づくりができる「ふれあい・いきいきサロン」活動の実施を支援しました。</p>			
<p>実績</p>	<p>サロン設置数 (全市)</p>	<p>268 か所</p>	<p>(令和 7年 3月 末時点)</p>	
<p>取り組み名</p>	<p>「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバルの開催</p>	<p>担当</p>	<p>市社会福祉協議会地域福祉課</p>	
<p>内容</p>	<p>市民の福祉への関心・意識の向上や福祉施設・団体の参画による連携推進のため、連帯感のあるあたたかい福祉のまちづくりを目的に、年齢や障害の有無に関わらず、誰もが参加でき、一緒に楽しむことができるイベントとして、市民協働による「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバルを6月に開催しました。</p>			
	<p>実績</p>	<p>参加団体数 来場者数</p>	<p>45 団体 約 2,400 人</p>	
<p>取り組み名</p>	<p>地域の多様な主体によるネットワーク活動の支援</p>	<p>担当</p>	<p>民生局福祉こども部福祉総務課</p>	
<p>内容</p>	<p>(1) 地域支え合い協議会の設置 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようお互いに支え合いながら生活する地域の基盤づくりのしくみの一つとして設置しています。 地域住民を中心に多様な主体が連携・協力するネットワークの構築を支援しました。</p>			
	<p>実績</p>	<p>よこすか地域支え合い協議会 (市全域1か所) 各地域支え合い協議会 (各地域に設置) ・大津 6回 ・田浦 10回 ・北下浦 12回 ・大楠 6回 ・追浜 4回 ・浦賀 6回 ・久里浜 3回 ・武山 5回</p>	<p>2 回 8 地域に設置</p>	
<p>(2) 「地域包括ケア支援システム (横須賀市生活に役立つ地域の情報)」の運用 市民が身近な地域資源・サービスを利用して日々の困りごとを解消できるよう、地域のボランティア団体や民間サービス等の情報を掲載しました。</p>	<p>取り組み名</p>	<p>地域の支え合い活動に関する担い手の養成</p>	<p>担当</p>	<p>民生局福祉こども部福祉総務課</p>
<p>内容</p>	<p>実績 地域づくり普及啓発講演会の開催</p>	<p>1 回</p>		

(4) 地域における見守り体制の充実

施策の
方向性

- ・ 認知症高齢者の増加や障害者・子どもへの虐待、孤独死・孤立死など、地域で起きているさまざまな課題を早期に発見し対応できるよう、身近な地域における見守り活動を引き続き支援します。
- ・ 「誰も一人にさせないまち 横須賀」の実現のため、既存の見守り体制へ支援を行うとともに民間事業者との見守り協定等により新しい担い手を確保し、重層的な見守り体制の充実に努めます。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

1 (4)

- ・ 各地域における見守り体制の整備と支援を必要とする全ての地域住民が相互に助け合い活動ができる仕組みづくりを行います。
- ・ 市と市社会福祉協議会が協力して、地域を超えて交流ができる場づくりを行います。
- ・ 福祉制度の周知啓発や地域資源に関する情報発信を行います。
- ・ 関係機関と連携して安否確認など適宜支援を行います。
- ・ 民生委員児童委員の活動内容の周知を図るため、研修会等を実施します。
- ・ 民生委員児童委員が住民から相談を受けた際、スムーズに専門機関につなぐことができるよう、研修の実施や情報提供などの支援を行います。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績)		1 (4)									
取り組み名	地域の見守り体制の充実に向けた取り組み	担当	民生局福祉こども部地域福祉課								
内容	<p>(1) 民間団体等との見守り協定</p> <p>業務で個人宅を訪問する機会がある民間団体等と「地域の見守り活動に関する協定」を結び、郵便物がたまっているといった生命の危険が予見される状況等に市にも通報がなされる体制を構築しています。</p> <table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td>市との協定締結団体等</td> <td>6 団体</td> <td>(令和 7年 3月 末時点)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>県との協定締結団体等</td> <td>59 団体</td> <td>(令和 7年 3月 末時点)</td> </tr> </table> <p>※複数市にわたって事業活動を行う団体等は、原則県の協定締結が優先される。</p>			実績	市との協定締結団体等	6 団体	(令和 7年 3月 末時点)		県との協定締結団体等	59 団体	(令和 7年 3月 末時点)
	実績	市との協定締結団体等	6 団体	(令和 7年 3月 末時点)							
	県との協定締結団体等	59 団体	(令和 7年 3月 末時点)								
内容	<p>(2) 認知症の方の見守り体制の充実</p> <p>認知症で行方不明になる可能性がある方の氏名や特徴、写真などの情報を事前に登録し、万一の場合には、市HP上や検索協力機関に情報提供して、迅速な発見につなげる「にこっとSOSネットワーク」を運用し、登録受付等を行いました。</p> <table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td>登録件数</td> <td>143 件</td> <td>(令和 7年 3月 末時点)</td> </tr> </table> <p>にこっとSOSネットワーク登録者を介護している方を対象に、位置情報検索システム(GPS機器)の購入費を助成しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td>助成件数</td> <td>15 件</td> <td>(令和 7年 3月 末時点)</td> </tr> </table>			実績	登録件数	143 件	(令和 7年 3月 末時点)	実績	助成件数	15 件	(令和 7年 3月 末時点)
	実績	登録件数	143 件	(令和 7年 3月 末時点)							
実績	助成件数	15 件	(令和 7年 3月 末時点)								
取り組み名	「地域包括ケア支援システム(横須賀市生活に役立つ地域の情報)」の運用	担当	民生局福祉こども部福祉総務課								
内容	(再掲) 1 (3) と同じです。										
取り組み名	自殺対策計画に基づいた自殺防止に向けた取り組み	担当	民生局健康部保健所保健予防課								
内容	<p>自殺対策計画に基づき、悩みを抱えた方等が相談につながるよう、ポスター掲示や相談窓口相談冊子「よこすか心のホットライン」の配布等の啓発活動を行いました。</p> <p>自殺対策計画の進捗管理及び連携強化のため会議を開催しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td>横須賀市自殺対策推進協議会</td> <td>2 回</td> <td></td> </tr> </table> <p>市内の2病院と連携して、自殺未遂者支援を行いました。</p> <p>ゲートキーパー研修を行いました。</p>			実績	横須賀市自殺対策推進協議会	2 回					
	実績	横須賀市自殺対策推進協議会	2 回								

取り組み名	民生委員児童委員の欠員解消に向けた取り組み	担当	民生局福祉こども部福祉総務課																			
内容	<p>(1) 民生委員推薦会の随時開催 平成29年度から随時開催とし、欠員地区の補充に迅速に対応しています。</p>																					
	<p>(2) 活動推進や負担軽減策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員に対する審議会委員等の推薦依頼について、必要性を精査するため、各部局に理由書の提出を求めることとしました。(平成28年12月から) アンケート調査の実施等により、活動の実態や課題を把握し、負担軽減策の検討の参考としました。 地区民生委員児童委員協議会へ福祉こども部職員が出席するようにしました。(平成29年9月から令和6年3月まで) 民生委員が住民からの相談等をスムーズに専門機関につなぐことができるよう、毎月の定例会で担当課から情報提供しているほか、研修会を実施しました。 																					
	実績	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>新任民生委員研修</td> <td style="text-align: center;">1 回</td> </tr> <tr> <td>民生委員研修 (県社協に委託)</td> <td style="text-align: center;">4 回</td> </tr> </table>	新任民生委員研修	1 回	民生委員研修 (県社協に委託)	4 回																
	新任民生委員研修	1 回																				
	民生委員研修 (県社協に委託)	4 回																				
	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員活動の一助としていただくための冊子「横須賀市民生委員児童委員活動のためのQ & A集を作成・発行しました。(行政組織改正や民生委員からの意見を取り入れ、毎年改定版を発行しています。) 																					
	<p>(3) 市職員への周知・啓発 毎年、定年退職者説明会において周知しています。(平成30年度から)</p>																					
	<p>(4) 市民への周知・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内掲示板、行政センター、市社協において、民生委員児童委員のポスターを掲示しました。 民生委員活動について広報よこすかに掲載しました。 総合福祉会館や行政センター、本庁、コースカ、市サポセンにおけるパネル展示を実施しました。 																					
	実績	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>パネル展示</td> <td style="text-align: center;">計 250 日間</td> </tr> </table>	パネル展示	計 250 日間																		
	パネル展示	計 250 日間																				
実績	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>広報よこすか記事掲載</td> <td style="text-align: center;">1 回</td> <td style="text-align: right;">(5月号)</td> </tr> </table>	広報よこすか記事掲載	1 回	(5月号)																		
広報よこすか記事掲載	1 回	(5月号)																				
<p>(5) 民生委員の選任基準の見直し 令和7年度一斉改選に向けて選任基準を再検討し、年齢要件等を緩和しました。年齢要件は、新任の区域担当で75歳未満、再任の区域担当で78歳未満、主任児童委員で65歳未満とします。</p>																						
<p>【民生委員数の推移】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平成22年12月</td> <td>558人 (欠員13人)</td> <td>(定数571人)</td> <td>充足率</td> <td>97.7%</td> </tr> <tr> <td>令和元年12月</td> <td>547人 (欠員37人)</td> <td>(定数584人)</td> <td>充足率</td> <td>93.7%</td> </tr> <tr> <td>令和4年12月</td> <td>534人 (欠員50人)</td> <td>(定数584人)</td> <td>充足率</td> <td>91.4%</td> </tr> <tr> <td>令和7年7月</td> <td>536人 (欠員48人)</td> <td>(定数584人)</td> <td>充足率</td> <td>91.8%</td> </tr> </table>			平成22年12月	558人 (欠員13人)	(定数571人)	充足率	97.7%	令和元年12月	547人 (欠員37人)	(定数584人)	充足率	93.7%	令和4年12月	534人 (欠員50人)	(定数584人)	充足率	91.4%	令和7年7月	536人 (欠員48人)	(定数584人)	充足率	91.8%
平成22年12月	558人 (欠員13人)	(定数571人)	充足率	97.7%																		
令和元年12月	547人 (欠員37人)	(定数584人)	充足率	93.7%																		
令和4年12月	534人 (欠員50人)	(定数584人)	充足率	91.4%																		
令和7年7月	536人 (欠員48人)	(定数584人)	充足率	91.8%																		

(5) 災害に備える地域づくりの促進

施策の
方向性

- ・ 大規模災害が発生した場合、時間的・物理的限界があり、行政による公的救助・支援のみでは災害時要援護者が迅速かつ安全に避難等を行うことができません。このため、自主防災組織を含めた地域における支援体制の充実に取り組みます。
- ・ また、地域における支援体制の充実のためには日ごろからの交流が不可欠です。このため、地域における支援者への情報共有の仕組みづくりや防災訓練等を活用した顔の見える関係づくりを進めます。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

1 (5)

- ・ 市との協定に基づき、災害時ボランティアセンターの設置・運営を行います。
- ・ 災害ボランティアの養成及び災害時ボランティアセンターの機能向上に努めます。
- ・ 災害時要援護者の支援を円滑に行うことができるよう地域における助け合いの仕組みづくりを今後も継続して進めていきます。
- ・ 市民への防災講演等の際には、災害時要援護者支援プランについて積極的に啓発していきます。
- ・ 避難所の設置・運営において福祉的な配慮がなされるよう、福祉避難所の運営等に取り組みます。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績) 1 (5)

<p>取り組み名</p>	<p>災害時ボランティアセンター運営検討会の開催</p>	<p>担当</p>	<p>市社会福祉協議会ボランティアセンター</p>
<p>内容</p>	<p>災害時ボランティアセンター運営検討会の開催や、災害時ボランティアセンター設置運営訓練の実施のほか、平時から団体・企業と顔が見える関係づくりを進めました。</p> <p>令和5年度に災害時ボランティアセンター運営支援システムを導入し、令和6年度は導入に伴う設置運営マニュアルを改訂しました。</p>		
<p>実績</p>	<p>災害時ボランティアセンター運営検討会の開催</p>	<p>2 回</p>	
<p>実績</p>	<p>災害時ボランティアセンター設置運営訓練の実施参加者</p>	<p>67 人</p>	
<p>実績</p>	<p>災害時ボランティアセンターコーディネーター養成講習会受講者</p>	<p>29 人</p>	
<p>取り組み名</p>	<p>横須賀市災害時要援護者支援プランの運用</p>	<p>担当</p>	<p>市長室危機管理課</p>
<p>内容</p>	<p>高齢者や、障害者など災害から自らを守ることが困難な「災害時要援護者」を支援していく上で、地域のどこに災害時要援護者が住んでいるのか、どのような支援を求めているのか等を把握することは難しく、そういった課題を解決していくために、「横須賀市災害時要援護者支援プラン」を策定しました。(平成21年3月)</p> <p>このプランに沿い、災害時要援護者本人の同意を得た上で、「災害時要援護者名簿」を作成し、町内会・自治会や民生委員児童委員などを中心とした地域の支援者に提供しました。</p>		
<p>実績</p>	<p>災害時要援護者名簿登録者数</p>	<p>8,588 人</p>	<p>(令和 7年 2月 時点)</p>

2 包括的・継続的な支援体制の充実

(1) 福祉の各分野における相談支援体制の強化

施策の方向性

- ・ 高齢者、障害者、子ども・子育て等といった属性や生活困窮、虐待、ひきこもり、性的マイノリティ（LGBTQ+）、自殺、孤独死・孤立死等に係る既存の相談支援体制の充実や各相談窓口の連携強化を図ります。
- ・ 一般就労が困難な在宅障害者の就労について、相談に応じながら引き続き推進します。
- ・ 生活困窮世帯等に対し、引き続き自立のための相談支援を行うとともに貧困の連鎖の防止に努めます。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

2 (1)

- ・ 生活福祉資金貸付の相談・支援のほか、各種機関や団体等と連携して、利用できる制度の案内や情報提供を行います。
- ・ 職員の人事交流のほか、財源、人材育成などの支援や協力体制など行政との連携強化を図ります。
- ・ 福祉の総合相談窓口「ほっとかん」では、単独の相談支援機関では解決が難しい複合化した相談事例のコーディネーターとして、市関係部局、関係機関等や地域の担い手とともに、支援の方向性を検討し、役割の分担を行い、課題の解決を図ります。
- ・ 頼れる身寄りがない低所得の高齢者等の最後の時の不安を解消し、権利と尊厳を守るために自宅など相談者の身近な場所で、葬儀・納骨などの死後事務の相談を行います。
- ・ 大切な個人の終活情報を預かり、いざという時には警察や病院等の照会に対応し、個人の意思を守ります。
- ・ 一般就労が困難な在宅障害者の就労を推進するため、制度の周知啓発、個人の能力に応じた就労の場の確保、職場定着に必要な援助等を行います。
- ・ 生活困窮世帯等に対し、引き続き自立相談支援や住居確保給付金の支給、食料支援等を行います。
- ・ 生活困窮世帯の子どもを対象とした、全日制高等学校へ進学するための学習支援を行い、貧困の連鎖を防止します。
- ・ 職員の人事交流のほか、財源、人材育成などの支援や協力体制など市社会福祉協議会との連携強化を図ります。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績) 2 (1)

取り組み名	地域生活相談員の配置	担当	民生局地域支援部市民相談室
内容	(再掲) 1 (1) と同じです。		
取り組み名	地域の多様な主体によるネットワークの形成	担当	民生局福祉こども部福祉総務課・地域福祉課
内容	<p>(1) 地域ケア会議及び在宅療養連携会議の開催</p> <p>多職種連携の推進、地域の包括的課題の発見、解決策の検討を目的として設置しています。</p> <p>医師、歯科医師、薬剤師等の医療関係者及びケアマネジャー、ヘルパー等の介護関係者、計19団体37名(行政を除く。)の方が参加しました。</p> <p>課題(テーマ)に応じた4つの専門部会を設置し、協議を行いました。</p>		
	実績	1 全体会議	2 回
	2 専門部会 検討状況に応じて開催		12 回
内容	<p>(2) 自立支援・介護予防のための地域ケア個別会議の開催</p> <p>高齢者の生活の質を向上するために、多様な専門職との意見交換を行うことで、より自立支援・介護予防の視点を含んだケアマネジメント力の向上を目指します。また、自立支援・介護予防の視点からの地域課題等の発見・把握、更には地域づくりに繋がります。</p>		
	実績	固定会議	12 回
取り組み名	家族丸ごとの相談支援体制の構築	担当	民生局福祉こども部地域福祉課
内容	<p>令和2年度に福祉の総合相談窓口「ほっとかん」を開設し、以下の業務を実施しました。</p> <p>個別事例における関係部署との連携支援を積み重ねていく中で、家族丸ごとの相談支援体制を強化しました。</p> <p>福祉分野の総合相談支援窓口として、複合的な困りごとを抱える市民の相談を一括して受け止めました。</p>		
	実績	相談件数	9,512 件 (令和 7年 3月 末時点)
	実績	よこすか福祉LINE相談件数	553 件 (令和 7年 3月 末時点)
	<p>地域の専門職や関係機関と連携しながら適宜訪問し、伴走型支援を行いました。</p>		
実績	訪問支援件数	1,250 件 (令和 7年 3月 末時点)	
<p>福祉人材や地域の担い手を育てていきます。</p>			
実績	個別事例における市民後見人への相談支援 (随時)		

取り組み名	市社会福祉協議会との連携	担当	市社会福祉協議会総務課 民生局福祉こども部福祉総務課
内容	市社会福祉協議会と市が相互に職員を派遣し、人事交流を行いました。		
	実績	人事交流	1 人ずつ

○ 障害者・障害児の支援体制の整備

取り組み名	障害者に対する就労支援	担当	民生局福祉こども部障害福祉課
内容	一般就労を希望する障害者等を支援するため、よこすか就労援助センターに対して運営費補助金を交付しました。		
	実績	研修会の開催	1 回
	障害者の職場定着の向上を図るため、新たに職場定着支援を行う者に対し、よこすか就労援助センターと連携して研修会を開催しました。		
実績	就労連絡会の開催	3 回	
取り組み名	フォローアップ教室の実施	担当	民生局健康部地域健康課 (各健康福祉センター)
内容	乳幼児健康診査後、発達の経過観察を行いながら、今後の子どもの療育や子育てについて保護者とともに考える場であるフォローアップ教室を開催しました。		
取り組み名	医療的ケア児等支援協議会の開催	担当	民生局福祉こども部障害福祉課
内容	医療的ケア児が地域で生活するための適切な支援を受けられるよう、当事者と保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関等が一堂に会する「医療的ケア児等支援協議会」を開催し、課題抽出や支援策を協議しました。		
取り組み名	医療的ケア児等コーディネーターの配置	担当	民生局福祉こども部障害福祉課
内容	業務委託により、令和5年度から本市内に医療的ケア児等コーディネーターを2名配置しています。		

○ 子ども・子育ての支援体制の整備

取り組み名	子育てをサポートする取り組みの整備	担当	民生局福祉こども部子育て支援課
内容	<p>教育・保育施設等や愛らんど、一時預かり保育室、ファミリーサポートセンター等、地域の子育て世帯に関わり、子育てに対する不安・負担の軽減をいろいろな形でサポートできるよう、関係機関と連携を取り支援体制の整備に努めています。</p> <p>(愛らんど7か所、一時預かり保育室3か所、ファミリーサポートセンター1か所)</p>		
取り組み名	要保護児童対策地域協議会の運営	担当	民生局こども家庭支援センター こども家庭支援課
内容	<p>支援を必要とする児童及びその家庭に関する情報等を共有し、関係機関で連携して対応していくことを目的に要保護児童対策地域協議会を運営しました。</p> <p>協議会では、「全体会議」を年1回、関係機関の役割及び機能の明確化、課題について協議する「実務担当者連絡会」を年1回(4地区)、対象児童等の支援の進捗状況を確認する「分科会」を年6回(5地区)、個別の対象児童等に関する具体的な支援内容を検討する「サポートチーム会議」(随時)を実施しました。</p>		
取り組み名	療育すこやかガイドブックの作成	担当	民生局福祉こども部障害福祉課
内容	<p>発達の遅れの心配や障害のあるお子さんの保護者が相談窓口や福祉サービスを利用する際の参考となるよう、「療育すこやかガイドブック」を作成し、配布・ホームページ公開しました。</p>		
実績	発行部数	2,800部	
取り組み名	発達の遅れについての相談体制	担当	民生局こども家庭支援センター こども家庭支援課
内容	<p>発達障害児者の相談窓口のチラシを作成して、配布・ホームページ公開しました。</p> <p>総合相談として、発達の遅れを心配している方からの相談を受け、適切な支援機関を紹介しました。</p>		
取り組み名	発達障害についての理解の促進	担当	民生局福祉こども部障害福祉課
内容	<p>主として障害児の保護者や支援者を対象に、発達障害をはじめとする障害に関する理解を深めるため、12月8日に「「暮らす」「楽しむ」力を育てる」をテーマに地域啓発講演会を行いました。</p>		
実績	参加者	37人	
取り組み名	日本語指導を必要とする児童生徒への学習支援	担当	教育委員会事務局学校教育部支援教育課
内容	<p>日本語指導を必要とする児童生徒への学習支援を実施しました。</p>		
実績	日本語指導員の派遣	167人	(令和7年3月末時点)
	学校生活適応支援員の派遣	11人	(令和7年3月末時点)
	日本語初期集中指導の実施	52人	(令和7年3月末時点)

取り組み名	生活困窮世帯の子どもに対する学習支援		担当	民生局福祉こども部生活支援課	
内容	市内全域で生活困窮世帯の中学3年生向けの無料の学習塾を、5月中旬から高校入学試験終了までの期間、実施しました。 また、令和6年度の10月から中学2年生向けの無料の学習塾も実施しました。				
	実績	中学3年生	実施箇所	9 箇所	
			参加者	96 人 (令和 7年 3月 末時点)	
		中学2年生	実施箇所	3 箇所	
			参加者	18 人 (令和 7年 3月 末時点)	

○ 生活困窮や終活等に関する支援体制の整備

取り組み名	生活困窮に関する支援体制の整備		担当	民生局福祉こども部生活支援課	
内容	(1) 生活困窮相談 様々な事情により経済的に困っている方の相談を受け付け、安定した生活が送れるよう様々な支援を行いました。平日開庁時間帯のほか、日曜日、大型連休中にも相談受付を実施しました。				
	実績	相談件数	499 件		(令和 7年 3月 末時点)
	(2) 住居確保給付金 離職中等で、住まいがないか失うおそれがある方について、要件を満たす場合には、住宅費等の支給と就労支援等を実施し、住まいと就労機会の確保に向けた支援を行いました。				
	実績	支給決定者数	20 人		(令和 7年 3月 末時点)
	(3) 就労準備支援事業 ひきこもりが原因ですぐに働けない人の就労体験の相談を行い、状況や必要に応じて、訪問や、居場所・就労体験への参加等の支援を行いました。				
	実績	利用者数	20 人		(令和 7年 3月 末時点)
	(4) 家計相談支援事業 家計に関する具体的な相談が必要な方に対し、専門資格を持つファイナンシャルプランナーによる、家計や家計管理に関する相談受付を行いました。				
	実績	相談件数	80 件		(令和 7年 3月 末時点)
	(5) 食料支援 (フードドライブ) 企業、町内会、生活協同組合、フードバンク、市民の方などから提供を受けた食品を、食料の支援が必要な方におつなぎしました。				
	実績	支援件数	358 件		(令和 7年 3月 末時点)

取り組み名	生活福祉資金貸付事業の実施		担当	市社会福祉協議会地域福祉課	
内容	生活困窮世帯などを対象に、生活の安定と経済的な自立を目的とした資金の貸付と必要な相談受付を行いました。				
	(1) 生活福祉資金 低所得者世帯や高齢者・障害者世帯を対象に行いました。				
	(2) 教育支援資金 高校・大学などへの進学や通学の経費を必要とする世帯を対象に行いました。				
	(3) 総合支援資金 生活の維持が困難になった世帯を対象に行いました。				
	(4) 不動産担保型生活資金 自宅に住み続けたい高齢者世帯を対象に行いました。				
	実績	相談件数	410 件	(令和 7年 3月 末時点)	
		申請件数	52 件	(令和 7年 3月 末時点)	
	貸付件数	298 件	(令和 7年 3月 末時点)		
(5) たすけあい資金貸付事業 緊急一時的に生計の維持が困難となった低所得者世帯等に対し、地区社会福祉協議会及び市福祉事務所で、簡便な方法による小口資金の貸付を行いました。					
取り組み名	終活に関する支援体制の整備		担当	民生局福祉こども部地域福祉課	
内容	(1) わたしの終活登録 (終活情報登録伝達事業) わたしの終活登録として、万一の時に病院・消防・警察・福祉事務所及び本人が指定した人からの問い合わせに、市が本人に代わって登録情報を伝えられるようにする終活関連情報の登録を受け付けました。				
	実績	登録件数	227 件	(令和 7年 3月 末時点)	
	(2) エンディングプラン・サポート事業 身寄りがなく生活にゆとりのない、ひとり暮らしの高齢者等の葬儀・納骨の心配の解決を支援するため、協力葬儀社との生前契約、見守りを行いました。				
実績	利用件数	23 件	(令和 7年 3月 末時点)		

(2) 家族丸ごとの相談支援体制の拡充

施策の
方向性

世代や属性を超えて多様化する課題や、制度のはざまにあるさまざまな困りごとを抱える人の課題解決のため、家族の困りごとを丸ごと受け止めることができる相談支援体制を拡充します。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

2 (2)

- ・ 「よこすか社協だより」やホームページなどさまざまな広報媒体により福祉制度や相談窓口の情報提供を行い、困りごとを抱えている人が適切に相談できるよう相談支援を行います。
- ・ 認知症高齢者、精神・知的障害者等の自立支援や成年後見制度の利用などによる権利擁護のための支援を進めます。
- ・ 福祉の総合相談窓口「ほっとかん」では、世代や属性を超えて多様化する課題や、制度のはざまにあるさまざまな困りごとを抱える人の相談を一括して受け付け、地域包括支援センターをはじめとした多機関と連携し、課題の解決を図ります。
- ・ 福祉LINE相談や日曜日の生活困窮相談、夜間福祉相談の試行を通じて、開庁時間帯に相談することができない人の相談を受け止め、できる限り早く相談窓口とつながることができ課題の解決に向けて動き出せるよう支援を行います。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績)		2 (2)					
取り組み名	情報発信及び情報提供	担当	市社会福祉協議会総務課				
内容	<p>(1) 「よこすか協だより」の発行</p> <p>「よこすか協だより」を発行し、福祉関係や市社会福祉協議会の情報発信・情報提供を行いました。</p> <table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td>発行部数 (年4回発行)</td> <td>620,000 部</td> <td>(年4回×155,000部)</td> </tr> </table>			実績	発行部数 (年4回発行)	620,000 部	(年4回×155,000部)
	実績	発行部数 (年4回発行)	620,000 部	(年4回×155,000部)			
<p>(2) ホームページのバージョンアップ</p> <p>車椅子の貸出ができるなど市民が利用しやすいように、令和4年度にリニューアルしたホームページをバージョンアップしました。</p>							
取り組み名	日常生活自立支援事業	担当	市社会福祉協議会あんしんセンター				
内容	<p>判断能力に不安のある高齢者や障害のある方を対象に、福祉サービスの手続きや金銭管理に不安がある方の支援を行いました。</p>						
	<p>(1) 書類等預かりサービス</p> <p>保管に心配のある書類を預かり、金融機関の貸金庫で保管しました。</p>						
	<p>(2) 福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス</p> <p>生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービス利用手続きや金銭管理を支援しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td>定期・臨時訪問件数</td> <td>695 件</td> <td>(令和 7年 3月 末時点)</td> </tr> </table>			実績	定期・臨時訪問件数	695 件	(令和 7年 3月 末時点)
実績	定期・臨時訪問件数	695 件	(令和 7年 3月 末時点)				
取り組み名	市民後見人の養成	担当	市社会福祉協議会あんしんセンター 民生局福祉こども部地域福祉課				
内容	<p>市社会福祉協議会では市からの委託を受け、市民が後見人となるための「よこすか市民後見人養成研修」を実施しました。</p>						
	実績	受講者 (基礎編)	78 人				
		研修 (基礎編)	12 回				
取り組み名	家族丸ごとの相談支援体制の構築	担当	民生局福祉こども部地域福祉課				
内容	(再掲) 2 (1) と同じです。						

○ 高齢者を対象とした地域包括ケアシステムの構築

取り組み名	地域ケア会議及び在宅療養連携会議の開催	担当	民生局福祉こども部地域福祉課
内容	(再掲) 1 (3) と同じです。		
取り組み名	在宅療養ブロック連携拠点事業	担当	民生局福祉こども部地域福祉課
内容	市内を4つの地域に分け、在宅療養ブロック連携拠点を各地域内の病院に委託し、設置しています。		
	在宅療養ブロック連携拠点が事務局となり、在宅療養ブロック研修会を開催しました。		
	実績	多職種合同研修会開催回数	
		・北ブロック(聖ヨゼフ病院)	3回
		・中央ブロック(衣笠病院)	2回
	・東ブロック(よこすか浦賀病院)	2回	
	・西南ブロック(市立市民病院)	2回	
取り組み名	在宅療養センター連携拠点の設置	担当	民生局福祉こども部地域福祉課
内容	在宅療養センター連携拠点を横須賀市医師会(かもめ広場)に委託し、設置しています。		
取り組み名	かかりつけ医セミナー(多職種連携セミナー)	担当	民生局福祉こども部地域福祉課
内容	診療所医師が在宅医療に参入することへの動機づけや、多職種の連携を推進することを目的に、医療・介護事業者を対象としたセミナーを開催しました。		
	実績	開催回数	4回

○ 障害者に対応した地域包括ケアシステムの構築

<p>取り組み名</p>	<p>精神障害者に対応した地域包括ケアシステムの構築</p>	<p>担当</p>	<p>民生局健康部保健所保健予防課</p>
<p>内容</p>	<p>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた会議を開催するとともに、精神疾患の正しい知識の普及のため研修会を開催し、また精神障害者の家族の支援のため分かち合いの会を開催しました。</p>		
	<p>実績 横須賀市精神保健福祉連絡協議会</p>		<p>1 回</p>
	<p>実務者連携会議</p>		<p>2 回</p>
	<p>こころの健康づくり教室</p>		<p>7 回</p>
	<p>こころのサポーター養成研修</p>		<p>0 回</p>
	<p>家族相談会</p>		<p>6 回</p>
<p>取り組み名</p>	<p>地域生活支援拠点等の整備</p>	<p>担当</p>	<p>民生局福祉こども部地域福祉課・障害福祉課</p>
<p>内容</p>	<p>障害者の高齢化や親なき後の生活を支えるために必要な機能を備える地域生活支援拠点等の面的整備に向け、障害とくらしの支援協議会の「地域生活支援拠点等部会」で示されたあり方の方向性に基づいて、①相談②緊急時の受け入れ・対応③体験の機会・場④専門的人材の確保、養成⑤地域の体制づくり の5つの機能を有する拠点を、優先順位をつけて整備していきます。</p>		
	<p>実績 拠点等事業所数</p>		<p>5 か所</p>

(3) アウトリーチ支援の拡充

施策の
方向性

- ・ 「ヤングケアラー」やひきこもりなど困りごとを抱えながら自ら相談に行くことができない人、そもそも困っている実感がないなどといった顕在化しにくい課題を抱えている人がいます。
- ・ 潜在的な困りごとを抱えた人に気付くことができるよう地域の見守り体制を強化するとともにアウトリーチ支援を拡充し、必要な人に必要なサポートが届くよう継続的な支援を行います。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

2 (3)

- ・ 横須賀あんしんセンターによる訪問、生活福祉資金など各種相談、民生委員児童委員活動などの中で気づいたケースについて、福祉施設・関係機関や行政とともに支援方法を検討します。
- ・ 各種福祉制度や相談窓口を周知するとともに、困りごとを抱えている人が相談しやすい環境を作ります。
- ・ ひきこもりの人に対する家庭訪問、相談や就労準備等の継続的な支援を行います。
- ・ 地域の居場所づくりを進め、困りごとを抱えている人との接点を増やします。
- ・ 複雑化した支援ニーズを抱えながらも必要な支援が届いていない人に支援を届けられるよう、必要に応じて継続的な家庭訪問や医療機関への受診など同行支援をすることで本人との信頼関係やつながり形成に向けた支援を行います。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績)		2 (3)	
取り組み名	日常生活自立支援事業 (あんしんセンター)	担当	市社会福祉協議会あんしんセンター
内容	(再掲) 2 (2) と同じです。		
取り組み名	居場所づくりの推進	担当	市社会福祉協議会地域福祉課
内容	(再掲) 1 (3) に記載のとおり、居場所づくりを推進し、困りごとを抱えている方との接点を増やすことに努めました。		
取り組み名	民生委員児童委員による訪問・声かけ	担当	市社会福祉協議会地域福祉課 民生局福祉こども部福祉総務課
内容	民生委員児童委員による、支援対象者を訪問しての困りごとがないかの声かけや、必要に応じた専門機関への連絡・案内を行いました。		
実績	民生委員訪問件数 (相談・支援)	57,511 件	(令和 7年 3月 末時点)
	民生委員訪問件数 (その他)	42,779 件	(令和 7年 3月 末時点)
取り組み名	家族丸ごとの相談支援体制の構築	担当	民生局福祉こども部地域福祉課
内容	(再掲) 2 (1) に記載のとおり、「ほっとかん」において、相談受付や伴走支援を行いました。		
取り組み名	生活困窮に関する支援体制の整備	担当	民生局福祉こども部生活支援課
内容	(再掲) 2 (1) に記載のとおり、相談受付やひきこもりの方への訪問支援を行いました。		

(4)

権利擁護の取り組みの支援【横須賀市成年後見制度利用促進基本計画】

施策の
方向性

- ・ 虐待を重大な人権侵害として捉え、虐待を受けている人の属性に捉われることなく早期発見と迅速な問題解決に努めます。
- ・ また、病気、事故等による障害などの理由によってご自身で意思決定することに不安がある人の意思決定の支援や、決定された意思や権利の尊重、財産を守るための環境整備と、保護者や地域の支援者等への普及啓発を図り、担い手の支援を進めます。
- ・ 各種相談窓口等との連携を推進し、高齢者や障害者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう権利擁護支援チームによる円滑な支援を目指します。
- ・ 成年後見制度の法人後見支援事業について、現状を分析し、どうすれば整備できるかの検討を進めます。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

2 (4)

- ・ 認知症高齢者、精神・知的障害者等の自立支援や成年後見制度の利用などによる権利擁護のための支援を進めます。
- ・ 市から事業を受託し、「横須賀あんしんセンター」において、権利擁護の担い手として市民後見人の養成と活動支援を行います。
- ・ 権利擁護についての情報発信を行うとともに、困りごとを抱えている人が相談しやすい環境を作ります。
- ・ 物事の判断が困難である人が地域において自立した生活を送れるよう、利用者との契約に基づき、日常の金銭の管理や福祉サービスの利用援助等を行います。
- ・ 福祉の総合相談窓口「ほっとかん」に設置する「よこすか成年後見センター」が、電話や、面接・訪問などの相談支援を行います。本人の状態に応じて、日常生活自立支援事業又は成年後見制度を活用することにより権利擁護支援を適切に行います。
- ・ 虐待をしてしまう世帯の背景に寄り添い養護者と本人との家族関係を再構築していけるよう相談支援を行い、医療・介護サービスのほか、必要な制度の利用につながるよう関係機関と連携して支援します。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績)		2 (4)	
取り組み名	日常生活自立支援事業 (あんしんセンター)	担当	市社会福祉協議会あんしんセンター
内容	(再掲) 2 (2) と同じです。		
取り組み名	居場所づくりの推進	担当	市社会福祉協議会地域福祉課
内容	(再掲) 1 (3) に記載のとおり、居場所づくりを推進し、困りごとを抱えている方との接点を増やすことに努めました。		
取り組み名	高齢者に関する虐待防止の取り組み	担当	民生局福祉こども部地域福祉課
内容	(1) 相談 高齢者虐待相談：保健師による電話・面接での随時相談		
	実績	新規相談件数	258 件 (令和 7年 3月 末時点)
		虐待ありと判断した件数	111 件 (令和 7年 3月 末時点)
	高齢者・介護者のこころの相談：臨床心理士による相談		
	実績	開催回数	16 回
		参加者数	22 人
	(2) ネットワークミーティング 個別部会：支援に関わる関係者で随時開催		
	実績	開催回数	10 回
		参加者数	78 人
	全体会：関係機関の連携強化のために年 1 回開催		
	(3) 研修会 高齢者虐待に関する理解を深めるため、介護従事者などを対象に年 3 回開催しました。		
	実績	第 1 回参加数	80 アカウント
	第 2 回参加数	89 アカウント	
	第 3 回参加数	75 アカウント	
(4) 市民講演会 高齢者虐待に関する正しい知識、理解を深めるために年 1 回開催しました。			
実績	参加者数	138 人	

取り組み名	障害者に関する虐待防止の取り組み	担当	民生局福祉こども部障害福祉課
内容	(1) 障害者虐待通報への対応		
	実績 通報件数	111 件	(令和 7年 3月 末時点)
	(2) 使用者への啓発 雇用奨励金を支給している企業等へ、障害者虐待防止に関するリーフレットの送付		
	(3) 障害福祉施設・事業所等への啓発 児童通所事業所連絡会での周知 施設・事業所を対象とした虐待防止研修会の開催		
実績 参加者数	92 人		
取り組み名	子どもに関する虐待防止の取り組み	担当	民生局こども家庭支援センター こども家庭支援課、児童相談課
内容	(1) こども家庭相談事業 児童虐待の未然防止・重篤化を防ぐことを目的として、令和6年度から実施しています。 月1回の「支援課ケース会議」で、対象児童等への支援状況の報告及び今後の方針を検討・確認しました。		
	(2) 児童虐待防止推進月間の取り組み 11月の「児童虐待防止推進月間」に合わせ、オレンジリボンの配布やパネル展示等を実施しました。「オレンジリボンたすきりレー」に参加し、虐待防止を呼びかけました。		

取り組み名	成年後見制度の利用促進	担当	民生局福祉こども部地域福祉課
内容	(1) 成年後見制度に係る相談及び申立ての支援		
	実績	相談件数	1,014 件 (令和 7年 3月 末時点)
		市長申立件数	48 件 (令和 7年 3月 末時点)
	(2) 市民後見人の受任調整等の支援 (受任調整会議)		
	実績	受任調整会議等開催回数	7 回
	実績	市民後見人の人数や活動状況	
		登録者数	50 人 (令和 7年 3月 末時点)
		延受任件数	88 件 (令和 7年 3月 末時点)
		内、新規受任件数	8 件
	(3) 地域包括支援センター主催の地域ケア個別会議等への専門職派遣		
実績	派遣件数	2 件	
(4) 専門職団体・関係機関が連携する協議会			
実績	成年後見制度情報交換会の開催	4 回	
今後は、中核機関の機能のうち後見人のマッチングの機能と後見人支援の機能強化を行っていきます。			
取り組み名	市民後見人の養成	担当	市社会福祉協議会あんしんセンター 民生局福祉こども部地域福祉課
内容	(再掲) 2 (2) と同じです。		

(5) 防犯・再犯防止に関する取り組みの推進【横須賀市再犯防止推進計画】

施策の
方向性

地域団体や関係機関等と連携して、防犯活動と防犯意識の高揚に取り組みます。とりわけ犯罪をした人等が、再び罪を犯すことなく社会に復帰できるよう、再犯防止や更生保護について地域の理解を深めるとともに、更生保護諸活動を行う民間協力者の活動を支援し、関係機関等と連携して、支援を必要とする人を適切な保健医療・福祉サービスにつなげ、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

2 (5)

- ・ 民生委員児童委員の支援と保護司の協力を得て、矯正施設出所後の生活の安定に向けた資金貸付の相談等に応じます。
- ・ 各地区において、横須賀保護司会等と連携して“社会を明るくする運動”関連行事を開催し、再犯防止等について地域での理解促進に取り組みます。
- ・ 市社会福祉協議会の保護司部会を通して横須賀保護司会の活動を支援します。
- ・ 横須賀市安全・安心まちづくり推進連絡協議会を設置し、地域団体、防犯関連団体、事業者、警察署、県、市等が連携・協働して、防犯活動と防犯意識の高揚に取り組みます。
- ・ 警察署、関係団体、町内会・自治会の協力と参加を得て、防犯講演会等を開催します。
- ・ 本市全域の町内会・自治会等の団体を対象に、地域安全パトロール活動を活発化させ、自主防犯活動の中心的役割を担っていただくための「地域防犯リーダー」の養成講座を開催します。
- ・ 警察署と連携し、よこすか防犯あんしんメールの登録者のスマートフォンやパソコン等に、犯罪に関する情報をお知らせします。
【補足】横須賀市LINEの受信設定を「全ての情報を受け取る」又は「防犯」にしている方にも提供しています。
- ・ 町内会・自治会等が設置する防犯カメラの設置費を補助します。
- ・ 地域における防犯パトロール等に対し、関係物品を支給・貸与します。
- ・ 青少年の非行防止のための繁華街等パトロールを実施し、非行防止講座を開催します。
- ・ 20歳までの子ども・青少年、その保護者からの非行防止に関する相談に応じます。
- ・ 本人、家族からの依存症に関する相談に応じます。
- ・ 横須賀市再犯防止対策連絡会議を設置し、住居、就労、入口支援、薬物等、再犯を防止するための課題や対策等について、関係機関・団体と共有し、連携強化を図ります。(平成31年度・令和元年度(2019年度)から)
- ・ 本市における更生保護の拠点である更生保護サポートセンターの設置(平成25年度(2013年度)から)、その他保護司活動に必要な場所を市が提供する等により、横須賀保護司会の活動を支援します。
- ・ 横須賀地区更生保護女性会の事務局を地域支援部市民生活課内に置き、活動を支援します。
- ・ 保護司や更生保護女性会会員の担い手不足が深刻化していることから、情報共有や連携強化を進め、人材の確保を支援します。
- ・ 保護観察所等の関係機関・団体と連携し、“社会を明るくする運動”、再犯防止啓発月間等の取り組みを通して、再犯防止等について地域での理解促進に取り組みます。
- ・ さまざまな課題を抱えた支援を必要とする人に対し、関係機関等と連携して、適切な保健医療・福祉サービスにつなげます。
- ・ 犯罪をした人等を雇用し立ち直りを支える協力雇用主について、入札参加資格(格付け制度)に評価項目を追加します。(平成31年度・令和元年度(2019年度)から)

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績)		2 (5)	
取り組み名	市社会福祉協議会と保護司との連携	担当	市社会福祉協議会地域福祉課
内容	市社会福祉協議会の保護司部会を通じて、横須賀市保護司会への助成を行うとともに、生活福祉資金貸付事業(2(1)に記載)や地区社協活動支援事業を通じて保護司と連携しました。		
取り組み名	犯罪をした人等に対する社会復帰支援	担当	民生局地域支援部市民生活課
内容	再犯防止対策の推進にあたっては、関係機関等との連携が不可欠であることから、関係機関等によるネットワークを構築し、情報交換や意見交換を行う場として、令和元年度から「横須賀市再犯防止対策連絡会議」を設置しています。		
	実績 開催回数	2 回	
取り組み名	防犯意識向上のための普及啓発	担当	民生局地域支援部市民生活課
内容	地域団体、防犯関連団体、事業者、警察署、県、市等が連携・協働して、防犯活動と防犯意識の高揚に取り組み、安全・安心まちづくり意識の普及及び啓発のため、防犯講演会等を実施しました。		
	実績 開催回数	2 回	
取り組み名	青少年の非行防止のための巡回指導及び非行防止講座	担当	民生局こども家庭支援センター こども家庭支援課
内容	青少年の非行防止および健全育成を図るため、巡回指導員による子どもへの声かけ等を実施しました。また、非行防止講座(ユース出前トーク)の実施について、地域団体等からの依頼を受け付けています。		
	実績 巡回指導件数	218 件	
	実績 非行防止講座開催回数	0 回	
取り組み名	青少年の非行防止の相談	担当	民生局こども家庭支援センター こども家庭支援課
内容	18歳未満(※継続的な相談については、20歳まで)の子ども・青少年、その保護者からの非行防止に関する相談に、こども青少年相談員(臨床心理士)が相談に応じました。		
	実績 こども青少年相談のうち非行相談の件数	2 件	

3 多様な担い手の育成・参画の推進

(1) 地域福祉の担い手の育成・参画の推進

施策の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、地域住民自身が地域福祉の担い手の一人として主体的に関わる中で困りごとを地域で解決することも重要です。 ・ 住民一人ひとりが自らの意欲・関心に応じて、自分の能力を生かして地域で活躍することができるよう、担い手の育成・参画の推進や、次世代の担い手への継承を支援します。
------------	--

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

3 (1)

- ・ よこすかボランティアセンターにおいて、ボランティアの育成、活動の周知、ボランティア活動のマッチングを行います。
- ・ ボランティア団体相互の情報交換の場を設置するなど、参加促進に向けた取り組みを行います。
- ・ さまざまな広報媒体で地域のボランティア活動の情報発信を行います。
- ・ 地域活動に関する講演会や情報交換会を開催するなど、情報発信、周知啓発を行います。
- ・ 地域活動に対する参加意向を持ちながらも参加に結び付いていない人材を発掘する取り組みを検討します。
- ・ 意欲のある民生委員児童委員が活動を続けられるよう、引き続き民生委員児童委員への依頼事項の見直し等を行います。
- ・ 消防団や商工会議所など、より多様な地域の担い手と意見交換する場の開催を検討します。
- ・ 新しい担い手の確保に向け、民官連携を促進します。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績) 3 (1)

取り組み名	地域の支え合い活動に関する担い手の養成	担当	民生局福祉こども部福祉総務課
内容	(再掲) 1 (3) と同じです。		
取り組み名	ボランティアの養成及び活躍の推進	担当	市社会福祉協議会ボランティアセンター
内容	(1) ボランティア相談による需給調整 ボランティア相談員を常時配置し、ボランティア活動の担い手と受け手の橋渡しをしています。ボランティア相談では、いつ、どこで、どのような活動(内容)をしたいかをきめ細かく聞き取り、丁寧に活動に繋ぐとともに活動に関わる悩みを聞くことで安心して活動に取り組めるよう支援しました。		
	実績	ボランティアに関する相談	77 件
		内、ボランティア需給調整	38 件
	実績	障害者等当事者からの相談	0 件
	実績	その他相談(関係団体との連絡等)	1,384 件
内容	(2) ボランティア情報の発信 市社会福祉協議会ボランティアセンターに登録するボランティアに向けて『よこすかボランティアニュース』を発行し、ボランティア活動に関する情報を発信するとともに、行政センターやコミュニティセンターなど多くの市民が集う場に配架しました。 また、市社会福祉協議会ボランティアセンターのホームページにボランティア活動に関する情報を掲載し、リアルタイムで随時発信しました。		
	実績	ボランティアニュース発行	11,400 部 (年4回×各2,850部)
取り組み名	ボランティア養成講座の開催	担当	市社会福祉協議会ボランティアセンター
内容	市域における福祉課題を解決するため、ボランティア養成講座を企画、実施し、ボランティア活動者を増やすとともに育成を図っています。また、それらのボランティア活動者がさまざまな分野において活躍できるよう裾野を拡げるための情報提供を行いました。		
	実績	講座延べ開催回数	4 回
		講座延べ参加人数	43 人

<p>取り組み名</p>	<p>地区ボランティアセンターの機能強化</p>	<p>担当</p>	<p>市社会福祉協議会ボランティアセンター</p>	
<p>内容</p>	<p>(1) 地区ボランティアセンター活動強化事業 (再掲) 1 (3) と同じです。</p>			
	<p>(2) 地区ボランティアセンター連絡会議の開催 市社会福祉協議会と各地区社会福祉協議会が運営する各地区ボランティアセンターが相互連絡を図り、地区ボランティアセンターの運営や活動の情報共有を図るとともに、共通の問題の調査研究を通じてボランティア活動の活性化を図ることを目的として、地区ボランティアセンターの連絡会議を開催しました。</p>			
	<p>実績</p>	<p>会議開催回数</p>	<p>2 回</p>	
		<p>会議参加者数</p>	<p>38 人</p>	
<p>取り組み名</p>	<p>小・中・高等学校ボランティアスクール</p>	<p>担当</p>	<p>市社会福祉協議会ボランティアセンター</p>	
<p>内容</p>	<p>児童や生徒を対象に車いす等の体験、障害当事者の講話等を実施し、「やさしさ」「思いやり」の大切さについて学習するとともに、「助け合い」の気持ちを醸成することを目的として実施しました。</p>			
	<p>実績</p>	<p>開催回数及び受講者数</p>	<p>48 件</p>	<p>3,308 人</p>
		<p>(内、小学校)</p>	<p>33 件</p>	<p>2,063 人</p>
		<p>(内、中学校)</p>	<p>12 件</p>	<p>930 人</p>
		<p>(内、高等学校)</p>	<p>3 件</p>	<p>315 人</p>
<p>取り組み名</p>	<p>学校教育における福祉教育の充実</p>	<p>担当</p>	<p>教育委員会事務局学校教育課教育指導課</p>	
<p>内容</p>	<p>総合的な学習の時間において、多くの学校が福祉をテーマとして学習しています。 車いす体験、アイマスク体験といった学習をきっかけとして、福祉教育につなげる実践を行っています。 盲導犬のユーザーや高齢者施設とつながり、直接お話を聞くなどの体験を通して、その思いや気持ちに触れ、福祉を学ぶといった実践を行っています。 福祉に関わる体験を通して、子どもの頃から福祉意識を育てる環境づくりを進めています。</p>			

(2) 地域福祉に関わる専門職等の確保・養成

施策の
方向性

- ・ 複合化・複雑化した福祉課題に対応するため、福祉事業所等の合同企業説明会への参加支援などの人材確保及び福祉分野の専門職等に対する研修の充実に取り組みます。
- ・ また、福祉分野に関わる専門職等が安心して働くことができるよう、職場環境の整備に関する支援に取り組みます。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

3 (2)

- ・ さまざまな地域資源と連携した事業を展開するため、これまで以上に各地区等の事業や行事に積極的に参加し、顔の見える関係づくりを進めます。
- ・ 職員への福祉分野に関する研修の実施や資格取得を奨励し支援します。
- ・ 福祉分野の人材育成のための事業を展開します。
- ・ 福祉分野の学生のための実習やインターンシップ等を積極的に受け入れます。
- ・ 福祉専門職に対する研修を実施し、質の向上を図ります。
- ・ 福祉人材の確保に向けた取り組みを支援します。
- ・ 先進的な技術の普及啓発に努め、福祉専門職等の負担軽減を図ります。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績) 3 (2)

○ 福祉人材の育成

取り組み名	地域活動団体の支援	担当	市社会福祉協議会地域福祉課								
内容	(再掲) 1 (1) と同じです。										
取り組み名	【高齢者関係】 ケアマネジャーに対する研修	担当	民生局福祉こども部地域福祉課・介護保険課								
内容	在宅療養セミナー 基礎講座 在宅療養セミナー トピック講座 新任ケアマネジャーに対する介護保険制度などについての研修 スキルアップ研修 管理者研修会 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">実績</td> <td>実施回数</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">各 1 回</td> <td>(1日×1コース)</td> </tr> </table> ケアプラン点検集団検討会 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">実績</td> <td>実施回数</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1 回</td> <td></td> </tr> </table>			実績	実施回数	各 1 回	(1日×1コース)	実績	実施回数	1 回	
実績	実施回数	各 1 回	(1日×1コース)								
実績	実施回数	1 回									
取り組み名	【高齢者関係】 ヘルパーに対する研修	担当	健康福祉財団実施 民生局福祉こども部地域福祉課								
内容	在宅療養セミナー 基礎講座 (1日×1コース) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">実績</td> <td>実施回数</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">2 回</td> <td></td> </tr> </table>			実績	実施回数	2 回					
実績	実施回数	2 回									
取り組み名	【高齢者関係】 介護職員出前講座	担当	民生局福祉こども部介護保険課								
内容	市立の中学校へ、市内の特別養護老人ホームから介護職の方を派遣していただき、介護の仕事の魅力についての講演や、車いすなどの体験を実施しました。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">実績</td> <td>実施件数</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">3 校</td> <td></td> </tr> </table>			実績	実施件数	3 校					
実績	実施件数	3 校									

<p>取り組み名</p>	<p>【子ども関係】 従事職員等に対する研修</p>	<p>担当</p>	<p>民生局福祉こども部子育て支援課</p>
<p>内容</p>	<p>教育・保育施設に従事する職員の資質の向上を支援するため、教育・保育施設に勤務している職員を対象に研修を実施しました。</p>		
	<p>実績</p>	<p>研修回数</p>	<p>2 回</p>
	<p>保育士等キャリアアップ研修の実施（子育て支援課）</p>		
	<p>実績</p>	<p>研修回数</p>	<p>3 回</p>
	<p>放課後児童支援員等を対象とした研修の実施</p>		
<p>実績</p>	<p>初任者研修回数</p>	<p>10 回</p>	
<p>実績</p>	<p>行政研修回数</p>	<p>4 回</p>	
<p>白峰学園横浜女子短期大学保育センターの運営</p>			
<p>取り組み名</p>	<p>【子ども関係】 専門職に対する研修</p>	<p>担当</p>	<p>民生局福祉こども家庭支援センターこども家庭支援課</p>
<p>内容</p>	<p>養育力の低下が原因で児童の養育環境が脅かされている家庭に対し、育児支援家庭訪問事業を実施しています。その支援をする専門職（ヘルパー・助産師・保育士・保健師等）に対し、年1回従事者研修を実施しました。</p>		
<p>取り組み名</p>	<p>【子ども関係】 支援者に対する研修</p>	<p>担当</p>	<p>民生局福祉こども部障害福祉課</p>
<p>内容</p>	<p>発達の遅れや障害のあるお子さんとその家族への理解を深め、支援者同士の関係づくりや地域支援力を高めることを目的に、支援者（幼稚園、保育園、こども園の保育士等や放課後児童クラブの指導員等）を対象にした研修を行っています。</p>		
	<p>実績</p>	<p>発達支援コーディネーター・フォローアップ研修受講人数</p>	<p>44 人</p>
	<p>実績</p>	<p>発達支援コーディネーターコラボ研修</p>	<p>90 人</p>
	<p>実績</p>	<p>放課後児童クラブ指導員障害児支援研修</p>	<p>33 人</p>
	<p>「療育相談ハンドブック（支援者用マニュアル）」を作成して支援者へ配布し、市内の療育支援の情報や連携方法を周知しています。</p>		
<p>実績</p>	<p>発行部数</p>	<p>550 部</p>	

取り組み名	実習生の受入等	担当	市社会福祉協議会総務課
内容	(1) インターンシップ学生の受入 (関東学院大学)		
	実績	受入人数	2 人
	(2) 各地区社会福祉協議会が実施するサロンへの学生の派遣 (神奈川歯科大学短期大学部)		
	実績	派遣先数	延 24 か所
	派遣人数	延 94 人	
取り組み名	ソーシャルワーク実習生受け入れ	担当	民生局福祉子ども部福祉総務課
内容	保健福祉分野の大学等からの依頼を受け、福祉事務所においてソーシャルワーク実習の受け入れを行いました。		
	実績	受け入れ人数	2 人

○ 福祉人材の確保

取り組み名	【高齢者関係】 人材確保に向けた取り組み	担当	民生局福祉こども部介護保険課						
内容	<p>経済連携協定（EPA）等で来日し介護の仕事に従事する外国人介護人材へ介護の日本語研修を実施しました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td>実施回数</td> <td>1 コース</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者数</td> <td>3 人</td> </tr> </table>	実績	実施回数	1 コース		参加者数	3 人	
	実績	実施回数	1 コース						
		参加者数	3 人						
	<p>市内の介護サービス事業所職員を対象としたコミュニケーション能力の向上等を目的とした研修を実施しました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td>実施回数</td> <td>2 回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者数</td> <td>16 人</td> </tr> </table>	実績	実施回数	2 回		参加者数	16 人	
実績	実施回数	2 回							
	参加者数	16 人							
<p>市内の介護老人福祉施設及び介護老人保健施設を対象とした講師派遣型の研修を実施しました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td>実施件数</td> <td>3 施設</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者数</td> <td>26 人</td> </tr> </table>	実績	実施件数	3 施設		参加者数	26 人		
実績	実施件数	3 施設							
	参加者数	26 人							
取り組み名	【子ども関係】 待機児童解消に向けた取り組み	担当	民生局福祉こども部子育て支援課						
内容	<p>待機児童対策を実施するために必要な、保育を提供する場所と人材の確保に向けて以下の取り組みを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育・保育現場の人材確保を支援し、待機児童対策を実施 ・ 保育所・保育士支援センターを運営 ・ 子育て支援員養成研修を運営 ・ 保育教諭資格取得支援を実施 ・ 学生向け・潜在保育士の就職セミナー・相談会を開催 								
	<table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td>実施回数</td> <td>2 回</td> </tr> </table>	実績	実施回数	2 回					
実績	実施回数	2 回							

○ 雇用環境の改善に向けた取り組みの推進

取り組み名	【高齢者関係】 介護人材等に関するアンケートの実施	担当	民生局福祉こども部介護保険課
内容	市内の介護事業所へ、人材確保・定着等の取り組み支援に向けて、事業所の現状を把握するためのアンケートを実施しました。		
	実績	実施日	令和6年11月29日 ~ 令和7年1月17日
取り組み名	【子ども関係】 保育士等の処遇改善	担当	民生局福祉こども部子育て支援課
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等で働く経験年数7年以上の保育士等に栄養士・調理員を加え、国の制度に上乗せして月額40,000円の処遇改善を実施しました。 ・ 保育士等に研修を実施し、職場全体の質の向上を目指すことで働きやすい環境を作りました。 		

(3) 福祉団体の活動の支援

施策の
方向性

- ・ 地域の多様な福祉団体の活動の周知等を支援していきます。
- ・ また、本市における地域福祉の中心的な役割を果たす市社会福祉協議会について、運営支援を行うとともに情報共有や活動の支援を行います。
- ・ なお、市社会福祉協議会では、地域福祉推進のために活用されている「赤い羽根共同募金」等の共同募金事業を引き続き推進していきます。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

3 (3)

- ・ 地域福祉の拠点として、地区社会福祉協議会、地区ボランティアセンターを引き続き支援します。
- ・ ボランティアの養成及びボランティア活動に関する周知啓発を行います。
- ・ さまざまな広報媒体で地域福祉活動の情報発信を行います。
- ・ 地区ボランティアセンターへの「ワンコインボランティア」の導入を検討します。
- ・ 共同募金への理解を広く促進し、地域住民をはじめ、さまざまな法人、機関、団体等の理解と参加による共同募金事業を展開します。
- ・ 職員の人事交流のほか、財源、人材育成などの支援や協力体制など、市との連携強化を図ります。
- ・ 福祉団体の担い手不足など時代の変化に即した新たな活動支援の在り方を市社会福祉協議会とともに検討します。
- ・ 地域団体同士が情報交換・意見交換を行うなど福祉団体相互が連携できる仕組みづくりを進めます。
- ・ 市社会福祉協議会と人事交流や研修等の実施を通して顔の見える関係づくりを進めます。
- ・ 地域福祉の中心的な役割を担う市社会福祉協議会を引き続き支援し、機能強化を図ります。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績)		3 (3)	
取り組み名	共同募金運動の実施	担当	市社会福祉協議会地域福祉課
内容	地域・企業・学校等の協力により、赤い羽根共同募金 (10月) 及び年末たすけあい募金 (12月) 運動を実施しました。		
取り組み名	市社会福祉協議会への支援	担当	民生局福祉こども部福祉総務課
内容	地域福祉の中心的な役割を担う市社会福祉協議会に対し、円滑な組織運営を図るため、補助金・交付金による支援を実施しました。また、令和5年度から職員の人事交流を開始し、市と社会福祉協議会の連携強化を進めています。		
実績	横須賀市社会福祉協議会運営費補助金	96,467,343 円	
実績	市民福祉活動助成交付金	26,593,987 円	
実績	横須賀あんしんセンター運営費補助金	9,779,273 円	
取り組み名	市社会福祉協議会との連携	担当	市社会福祉協議会総務課 民生局福祉こども部福祉総務課
内容	(再掲) 2 (1) と同じです。		
取り組み名	地域団体への助成	担当	市社会福祉協議会地域福祉課
内容	(再掲) 1 (1) 等に記載のとおり、地区社会福祉協議会や地区ボランティアセンターへの助成を行いました。また、ボランティアセンター連絡会議を開催しました。		
取り組み名	ボランティア養成講座の開催	担当	市社会福祉協議会ボランティアセンター
内容	(再掲) 3 (1) と同じです。		

4 心のバリアフリーの促進

(1) 他者に対する思いやりの心の醸成

施策の方向性

- ・ 学校教育における総合的な学習の時間等を利用して福祉教育を推進します。
- ・ また、社会福祉施設等と連携を図りながら、福祉体験の場を身近にし、子どもたちから福祉意識を育てる環境づくりを進めます。
- ・ このような福祉教育・体験などを通して心のバリアフリーの普及・啓発を図ることで他者に対する思いやりの心を醸成します。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

4 (1)

- ・ 福祉施設等と連携を図りながら、福祉体験の場や機会を提供します。
- ・ 小・中・高等学校ボランティアスクール等を通して、地域の多様な人との交流の場を提供します。
- ・ 身近な福祉を体験できるイベントを実施します。
- ・ 学校教育における総合的な学習の時間等を活用して、引き続き福祉教育を推進します。
- ・ 「誰も一人にさせないまち」の実現を目指し、引き続き基本理念として掲げ続けます。
- ・ 障害者施設や学校と協力して、地域一帯で参加できるイベントの開催を検討します。
- ・ 公共施設等を各活動のシンボルカラーでライトアップするなど、啓発活動を推進します。
- ・ 他者に対する理解や多様性の理解を進めるため、引き続き啓発事業を実施します。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績)		4 (1)	
取り組み名	福祉教育の推進	担当	教育委員会事務局学校教育部教育指導課
内容	<p>総合的な学習の時間において、多くの学校が福祉をテーマとして学習しています。車いす体験、アイマスク体験といった学習をきっかけとして、福祉教育につながる実践を行っています。</p> <p>パラリンピックの競技を体験することを導入にして、障害者の方の思いや気持ちに触れ、福祉を学ぶといった実践も行っています。</p> <p>高齢者施設の方のお話を聞いたり、盲導犬のユーザーのお話を聞いたりするなど、直接お話を聞くなどの体験を通して、福祉教育の推進を行っています。</p>		
取り組み名	小・中・高等学校ボランティアスクール	担当	市社会福祉協議会ボランティアセンター
内容	(再掲) 3 (1) と同じです。		

(2) ソーシャルインクルージョンの促進

施策の
方向性

地域で暮らすさまざまな人が年齢、性別、国籍、障害の有無、性自認等に関わらず、一人ひとり個性が尊重され、自分らしく暮らすことができるよう、多様性を尊重する地域社会づくりを進めます。相互理解を深めることができるよう交流会などを実施します。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

4 (2)

- ・ 身近な相談者となりうる職員がソーシャルインクルージョンに関する正しい知識を習得できるよう研修等に参加する機会を作ります。
- ・ 障害者団体と地区社会福祉協議会とで協力し、障害者と地域住民の顔が見える関係性づくりに努めます。
- ・ 外国人生活相談や日本語会話サロン等を開催し、多文化交流を推進します。
- ・ 性的マイノリティ (LGBTQ+) の正しい知識の周知・啓発を図るため、広報に努めるとともに講座等を開催します。
- ・ 身近な相談者となりうる職員・教員がソーシャルインクルージョンに関する正しい知識を習得できるよう研修等に参加する機会を作ります。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績)		4 (2)	
取り組み名	職員に対する人権研修	担当	総務部人事課
内容	研修体系のなかで、人権研修を必須研修と位置づけ、係長級、課長級などの階層別研修のなかで周知啓発を進めるとともに、人権団体主催の研修に一定数の職員を派遣しました。		
	実績	職員基本研修 (階層別)	
		・ 新任係長研修	54 人
		・ 新任課長研修	26 人
実績	職員基本研修 (派遣)		
	・ 延べ回数	5 回	
	・ 延べ派遣人数	217 人	
取り組み名	人権団体主催研修への職員派遣	担当	市長室人権・ダイバーシティ推進課
内容	職員に、人権団体が主催する研修への参加を依頼しました。		
	実績	延べ回数	33 回
		延べ派遣人数	289 人
取り組み名	教員に対する人権研修	担当	教育委員会事務局学校教育部教育研究所
内容	各学校に人権教育担当者を位置づけ、担当者研修講座を開催するとともに、人権教育指導者養成講座を開設し、人権教育推進のための指導者養成を行っています。また、経験年数に応じた教員研修の中で、さまざまな人権課題について研修を行いました。		
	実績	人権教育担当者研修講座	3 回
	実績	教員研修 (経験年数別・初任、1 年目、2 年目、5 年目、中堅)	
		・ 延べ回数	5 回
		・ 延べ受講人数	378 人
実績	人権教育指導者養成研修講座	3 回	
取り組み名	市民に対する人権啓発	担当	教育委員会事務局教育総務部生涯学習課
内容	市民の人権に対する正しい理解と人権意識の高揚を図るため、講演会や講座等種々の啓発活動を積極的に実施しました。		
	実績	関連講座延べ回数	14 回
		延べ受講人数	480 人

<p>取り組み名</p>	<p>外国人に対する支援</p>	<p>担当</p>	<p>市長室国際交流・基地政策課</p>	
<p>内容</p>	<p>外国人を対象とした生活相談の実施や、外国人と日本人が同じ地域の一員として相互理解を深め日常的な交流につなげられるような取り組みを行いました。</p>			
	<p>実績</p>	<p>外国人生活相談 (通年)</p>	<p>84 件</p>	
		<p>出張相談</p>	<p>15 件</p>	
		<p>同行通訳</p>	<p>85 件</p>	
	<p>実績</p>	<p>日本語会話サロン (通年)</p>	<p>10 団体</p>	<p>(週1回活動)</p>
	<p>実績</p>	<p>国際交流イベント開催支援</p>	<p>5 件</p>	
	<p>実績</p>	<p>ジャパンフェスティバル イン よこすかで防災コーナー設置 (災害時通訳翻訳ボランティア研修)</p>		
<p>取り組み名</p>	<p>LGBTsなど性的マイノリティに対する支援</p>	<p>担当</p>	<p>市長室人権・ダイバーシティ推進課</p>	
<p>内容</p>	<p>よこすかLGBTs相談 (性的指向や性自認に関する専門相談) を実施しました。</p>			
	<p>実績</p>	<p>よこすかLGBTs相談</p>	<p>6 件</p>	
	<p>正しい知識を習得できるよう、研修や講座を開催しました。</p>			
	<p>実績</p>	<p>多様な性に関する研修(学校向け)</p>	<p>6 回</p>	
		<p>多様な性に関する研修(病院向け)</p>	<p>1 回</p>	
		<p>多様な性に関する研修(市職員向け)</p>	<p>1 回</p>	
		<p>多様な性に関する研修(企業向け)</p>	<p>1 回</p>	
		<p>男女共同参画職場リーダー会議(研修)</p>	<p>1 回</p>	
		<p>男女共同参画と多様な性に関する保育士向け研修</p>	<p>3 回</p>	
		<p>啓発パネル展示</p>	<p>9 か所</p>	
	<p>市民向け啓発リーフレットの作成、配布</p>	<p>6,235 枚</p>		
<p>戸籍上の性別にとらわれず、お互いが大切なパートナーと思っている方同士が自由な意思でパートナーシップ宣誓したことを、市として公に証明する宣誓証明書を交付しました。</p>				
<p>実績</p>	<p>横須賀市パートナーシップ宣誓証</p>	<p>19 件</p>	<p>(令和 7年 3月 末時点)</p>	
	<p>横須賀市ファミリーシップ届出件数</p>	<p>1 件</p>	<p>(令和 7年 3月 末時点)</p>	

(3) 新たな情報共有の仕組みづくりの推進

施策の
方向性

情報発信の在り方を見直し、高齢者、障害者を含め誰もが、その人に合った手段・方法で必要な時に必要な情報を共有できる仕組みづくりを推進します。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (計画の記載)

4 (3)

- ・ 地域における手話サークルなどと支援を必要とする人のマッチングを行います。
- ・ ホームページ等を利用した地域における福祉に係る情報発信・情報提供・情報共有を進めます。
- ・ よこすかボランティアニュースやホームページ等を利用した地域のボランティア活動の情報発信を行います。
- ・ 手話通訳者、要約筆記者、音訳者、点訳者の養成を行い、誰もが情報を共有できる体制づくりを推進します。
- ・ 外国人にも分かりやすい、多言語、やさしい日本語、分かりやすい表現の使用に努めます。
- ・ SNSなど新しい情報発信ツールを活用し、誰もがその人に合った手段・方法で必要な時に必要な情報を共有できる仕組みづくりを推進します。
- ・ 現役世代と高齢者の関係性を築くために、地域の現役世代と協力した高齢者向けのLINE教室の開催を検討します。
- ・ 希望する人がICTを活用できるよう、引き続きパソコン教室・スマホ教室等を開催します。

◎市社会福祉協議会と行政の取り組み (実績)		4 (3)	
取り組み名	「地域包括ケア支援システム (横須賀市生活に役立つ地域の情報)」の運用	担当	民生局福祉こども部福祉総務課
内容	(再掲) 1 (3) と同じです。		
取り組み名	スマホ体験教室の開催	担当	教育委員会事務局教育総務部生涯学習課
内容	生涯学習センター (まなびかん) で、主に中高年を対象としたスマホ体験教室を実施しました。		
実績	延べ開催回数	4 回	
	延べ受講者数	59 人	
取り組み名	視覚障害者向けのスマホ体験教室の開催	担当	民生局福祉こども部障害福祉課
内容	点字図書館で、スマホ利用が初めての視覚障害者を対象に、アクセシビリティの読み上げ機能を用いた基本操作の講習会を開催しました。		
実績	延べ開催回数	8 回	
	延べ受講者数	23 人	
取り組み名	手話通訳者・要約筆記者等の養成	担当	民生局福祉こども部障害福祉課
内容	手話通訳者を養成するために各種講習会を開催 (一部を県に委託)		
実績	手話講習会 (初級)	41 回	
	手話通訳者養成講習会 (基本、応用、手話通訳 I II III、認定試験)	133 回	
内容	要約筆記者を養成するために各種講習会を開催 (県に委託)		
実績	要約筆記者養成講習会	42 回	
取り組み名	やさしい日本語、分かりやすい表現の使用	担当	市長室国際交流・基地政策課
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人生活相談でのやさしい日本語対応 ・ 市ホームページ「Foreign Languages」のやさしい日本語表記 ・ 市公式LINEでのやさしい日本語情報発信 		

取り組み名	情報発信及び情報提供	担当	市社会福祉協議会総務課
内容	(再掲) 2 (2) と同じです。		
取り組み名	ボランティア情報の発信	担当	市社会福祉協議会ボランティアセンター
内容	(再掲) 3 (1) と同じです。		